

豪雨被災地支援 生協職員の活動報告

～被災幼稚園へのお菓子のお届けや、ボランティアバス運行など支援の輪が広がる～



西日本地域に甚大な被害をもたらした「平成30年(2018年)7月豪雨」により、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

日本生活協同組合連合会(本部：東京都渋谷区 略称：日本生協連 代表理事会長：本田 英一)は、現地の地域生協、県ごとの生活協同組合連合会とともに、被災地支援に向けた活動を行っており、現在は、豪雨直後の緊急物資の支援に続き、人的貢献にむけた活動を継続的に実施しています。

その中から各地域生協でのボランティア派遣やその他の活動の一部をお知らせいたします。

今回は、おかやまコープの被災幼稚園へのお菓子のお届け、被災者向け個配手数料無料の取り組み、大阪府生協連によるボランティアバス運行、コープ共済連中四国地区推進部による共済契約者訪問活動の様子をお伝えします。

記

■真備地区の幼稚園へお菓子をお届け(おかやまコープ)

おかやまコープでは、西日本豪雨で被害にあった幼稚園3施設(倉敷市立二万幼稚園・倉敷市立菌幼稚園・倉敷市立岡田幼稚園)を訪問し、児童のためのお菓子をお届けしました。そのうちのひとつ、倉敷市立菌(その)幼稚園には、被災後57人の保育登録があり、日々約35人の児童を預かっているとのこと。7月31日(火)、玉島センター長らが訪問し、コープのお菓子をお届けすると、大変喜んでいただきました。また、同じくお菓子をお届けした倉敷市立二万(にま)幼稚園長からも、「ちょうどおやつがなくなって困っていたところです。非常にありがたい」と喜びのコメントをいただきました。



菌幼稚園訪問の様子

■被災者向け個配手数料無料の取り組み(おかやまコープ・生協ひろしま)

おかやまコープ、ならびに生協ひろしまでは、西日本豪雨災害により被害にあわれた方を対象に、個配手数料を無料とすることとしました。おかやまコープでは半年間、生協ひろしまでは1年間、すでにご利用の方、および新規でご利用を始める方も対象として個配手数料を無料とすることで、被災された方々を支援いたします。



おかやまコープ 個配手数料無料のお知らせ

■倉敷市へ向けてボランティアバスを運行(大阪府生協連)

大阪府生協連では、8月4日(土)、西日本豪雨災害ボランティアバスを運行しました。大阪いずみ市民生協から10人、大阪よどがわ市民生協から10人、おおさかパルコープから6人、ほくせつ医療生協から1人、大阪府生協から2人の合計29人の参加者を乗せたバスは、午前9時過ぎに倉敷市災害ボランティアセンター(VC)本部に到着。災害VC真備サテライトに寄り、要請を受けて購入した作業用資機材を寄贈しました。その後、災害VCミニサテライトにて活動のマッチングをしてもらい、家の土壁の撤去、廃棄物の集積場への運搬、土の土嚢詰めと運搬などの活動を行いました。現地ではまだ大量の廃棄物の処理が残っており、復旧にも多くの人的・物的支援が必要であることを実感しました。



■共済契約者訪問活動を開始(コープ共済連中四国地区推進部)

コープ共済連中四国地区推進部の呼びかけにより、各地の生協からの応援が始まっています。共済契約者への訪問活動支援として、住宅災害共済金の請求手続きのご案内や請求受付を地元生協の職員と一緒に進めています。

日本生協連と全国各地の生協では、今後も、被災地域の皆さまのくらしの一日も早い復旧に向けて支援活動を進めてまいります。

以上

<お問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL : 03-5778-8106